

研究会発足と輪読会開催のお知らせ

中・東欧研究会の発足

本年 4 月より中欧および東欧に関する研究会を立ち上げることにいたしました。旧ソ連東欧の西部地域は多重に入り組んだ言語文化状況、バルカン諸国の EU 加盟、あるいは今次のクリミア半島情勢にみるごとく、まことに複雑な様相を提起しております。また本研究センターが「スラブ・ユーラシア研究センター」へと改称され、新たなスタートを切るにあたり、中・東欧研究のさらなる充実をめざし、諸先輩の智慧をいただき同時に若手と学び合う、広く開かれた研究会を組織することにいたしました。皆様の研究発表とご参加を募ります。

第一回「文献解読をめぐる諸問題」

講師 岩本由輝氏

2014 年 4 月 13 日(日)14 時から

スラブ・ユーラシア研究センター4 階大会議室にて

第一回は岩本由輝東北学院大学名誉教授をお招きして、資料解読を講じていただきます。主として日本史を専門に執筆して来られた岩本先生ですが、資料の誤読や改ざんが社会に及ぼす実害を、また学者の倫理観と責任を、実証的に語ってくださいます。東日本大震災では、過去の災害記録を学者が「科学的に」矮小化したため、被害を一層大きくしたことを、文献によって講義して下さい。岩本先生の軽妙洒脱な名講義は定評のあるところ。ふるってご参加ください。

我われの専門とする中・東欧研究においても、避けえなかったとはいえ性質の誤読、虚偽の註、先行研究の軽視等、実際の反省例が一度ならずありました。岩本先生に学び、自らを顧みつつ一層の研鑽を積み、研究の質を高めるために切磋琢磨してゆこうではありませんか。

世話人

家田修、野町素己、森下嘉之

ニーデルハウゼン博士著『総覧 東欧ロシア史学史』

(北海道大学出版会、2013 年)輪読会

第一回:第一章「ポーランドの歴史叙述」2014 年 4 月 24 日(木)16 時より

場所:スラブ・ユーラシア研究センター4 階 405 号室